

令和8年度 第1回 三朝町総合教育会議 会議録

開 会 日	令和8年8月18日(火)
開 催 場 所	三朝町役場2階 第2会議室
出 席 者	松浦弘幸町長、塩谷俊樹教育長 松浦靖明教育委員、知久馬孝亮教育委員、村岡麻梨教育委員
欠 席 者	加藤るみこ教育委員
説明等の出席者	赤坂副町長、藤井地域振興監、角田教育委員会事務局長、内田教育振興室長
協 議 事 項	三朝町放課後児童クラブの公設民営化について
報 告 事 項	な し
そ の 他	教育行政に係る意見交換

会 議 の 内 容

- 1 開 会
事務局
午後1時25分
・ 令和8年度第1回三朝町総合教育会議を開会します。本日は、加藤教育委員が御欠席です。
- 2 あいさつ
町長
・ 本日の議題は、放課後児童クラブの方向性について、これまで検討してきたものをベースにして、令和9年度に向けて協議をしていきたいと思いま
すし、学校の状況等の話を聞けたらと思います。
教育長
・ 夏休み期間中について、小学生は8月5日から7日まで京都府城陽市との
交流がありました。また、中学生は英語の勉強、いわゆる夏チャレであつた
り、水泳などのスポーツ大会など、夏休み期間中に様々な経験をして、成長
した姿が見られると楽しみにしています。一方で、長期の休みの後は、子ど
もたちの様子をしっかりと目配りすることも必要と思っております。
・ 本日の議題は、放課後児童クラブの話になりますが、この学童クラブとい
うのは、長期休業時も含めた通年の利用の中で、子どもたちの安全・安心な
居場所の提供であつたり、健全な子どもの育成を図る上でも、大変重要で欠
かせない事業です。
・ 昨年9月に、放課後児童クラブのあり方検討委員会から答申をいただきま
したので、この答申を基本に皆さんの御意見を伺いながら進めていきたい
と思っております。
・ その他に、スクールソーシャルワーカー、義務教育学校のあり方であつた
り、須磨学園の開校などについても御意見をいただければと思います。
- 3 会議録署名委員
の指名
事務局
・ 本日の会議録署名委員は、知久馬委員と松浦委員を指名します。

4 協議事項

事務局

- (1) 三朝町放課後児童クラブの公設民営化について
(資料により説明)

事務局

- ・ ただいま事務局より説明を行いました。内容について、何か御質問、御意見等ございませんか。

町長

- ・ 受託可能な業者は、このあたりに何社程度あるだろうか。

事務局

- ・ 1市4町の中で、受託をされているのが2社となります。うち3町については同一事業者となります。

町長

- ・ それは中部の事業者か。

事務局

- ・ 全国で展開している事業者です。

町長

- ・ 基本的には答申により方向性が出ているので、これに基づいて進めたら良いと思うが、1点気になることとして、今年の4月に三徳地域協議会が次年度の受託を辞退するという理由は何だろうか。

事務局

- ・ 委託費と運営経費のバランスが悪くなってきていることが1つです。また、利用者数が減少傾向にあることも1つあります。その他にも安心安全な環境を守る上で、指導者以下のメンバーを確保するのが非常に厳しい状態です。

町長

- ・ 以前、町が東の学童を廃止するといった話が出たことがあった。町としては、そういった話をしたことはないのに、町長が西の学童と統合しようとしているといった話が独り歩きしていたので、今回は大丈夫だろうかと気になったところである。

教育長

- ・ この度の受託辞退の話は、三徳地域協議会から出た話となります。なお、答申において、学童の登録者数が20人を切れば統合を検討していくけれども、現在は50人程度の登録ですので、すぐすぐに統合するという話にはなりません。

教育委員

- ・ 今の質疑応答の中で、いわゆる委託料が少ないことが、受託辞退の一つの理由ということだった。一方で、公設民営化にあたって現状より委託料が増額見込となるのであれば、三徳地域協議会が来年度も受託しようという動きにはならないか。

教育長

- ・ お金だけが理由ではなく、やはりスタッフの確保が難しいといった問題もあります。

町長

- ・ 現在のスタッフで残りたい人は、引き続き雇用をお願いするということか。

事務局

- ・ 次年度の意向調査をこれから行いたいと思います。秋頃に説明をした上で、残られるかどうかを確認します。

町長

- ・ そこは重要なことなので、きちんとしておくべきである。

副町長

- ・ 経費の試算については、見積をとってのものだろうか。

事務局

- ・ 見積を参考に記載しております。

町長

- ・ 想定として、子どもの数が動くということはあるだろうか。

事務局

- ・ 個人的な所見ですが、東の学童が良いという意見を聞いています。

教育委員

- ・ 本泉や三朝から東の学童に來られる方がいると聞きます。理由としては、

体育館が容易に使用できたり、長期休業中の際のイベント企画が魅力となっているようです。

副町長

- ・ 仮に同一事業者が2つの学童クラブを運営した場合、現在の特色はどうなるだろうか。地域によって、内容を変えてこられるだろうか。

事務局

- ・ ある程度は標準化されると想定しますが、プロポーザル実施の際、年度の事業計画において長期休業中のイベント企画についても記載していただくことを検討します。
- ・ その他、御意見等なければ、令和9年度からの完全公設民営化にむけて準備を進めるということによろしいですか。

～ 意見なし ～

5 その他

事務局

(1) 教育行政に係る意見交換

- ・ 皆さんで共有したいことがあれば御意見をお願いします。

教育長

- ・ 1つは、スクールソーシャルワーカーについてです。スクールソーシャルワーカーは、福祉的な視点が非常に重要ということで、社会福祉士の資格を持った方を採用できればと考えています。ハローワークでの募集と並行して、鳥取県の社会福祉士会を通して、情報を周知していきたいと思います。
- ・ 2つ目は、義務教育学校についてですが、秋口に視察を検討しています。
- ・ 3つ目は、須磨学園三朝高等学校についてです。先日、県の私学審議会のオブザーバーとして出席してきまして、審議委員と須磨学園との協議に参加してきたところです。

教育委員

- ・ 須磨学園の話が出ましたけれども、中部地区も通信教育を受ける生徒が非常に多いそうです。今回、須磨学園が運営する三朝高等学校が開校するということで、中部地区を中心として、そういった子どもたちを受け入れてもらえる学校が増えることを期待しています。

副町長

- ・ やはり最初ということもあり、生徒がどれだけ集まるかというのは、運営する側としては、心配されていた。

地域振興監

- ・ そろそろ募集要項がホームページで出されるなど、開校に向けた準備が進んでくると思います。

教育委員

- ・ そもそも設置の理由が、兵庫県で認可が下りないからということだったかと思います。したがって、兵庫県の子を引き受けたいというのが根底にあり、これに加えて、こちらの子という話になると思います。
- ・ 鳥取県内でも募集をかけなければ、学校の運営に支障をきたすと思われるので、こちらとしては県内の子をたくさん引き受けてほしいなと期待しています。

地域振興監

- ・ 先日、須磨学園のボーイスカウトが旧東小学校に来て、4泊5日のキャンプを実施していました。生徒を事前に下見に連れてきて、計画を自ら立てて実施したそうです。こういった通信制以外の活用もされております。

教育委員

- ・ 拠点として活用してもらえると、地域と繋がってきますし、将来的には小中学校とも繋がってもらえたらなと思います。

事務局
各出席者

- ・ その他、何かあれば。
(意見等なし)

6 閉 会

事務局

それでは、以上をもって令和８年度第１回三朝町総合教育会議を閉会します。

午後２時 11 分